

Action to 2030 きみのチカラがふくしまを創る

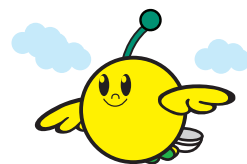
福島県

Coca-Cola
BOTTTLERS JAPAN INC.

NPO × 若者
= 創る!!

令和4年度 NPO強化による地域活性化事業

チャレンジ インターンシップ事業 事業報告書



キビタン©福島県



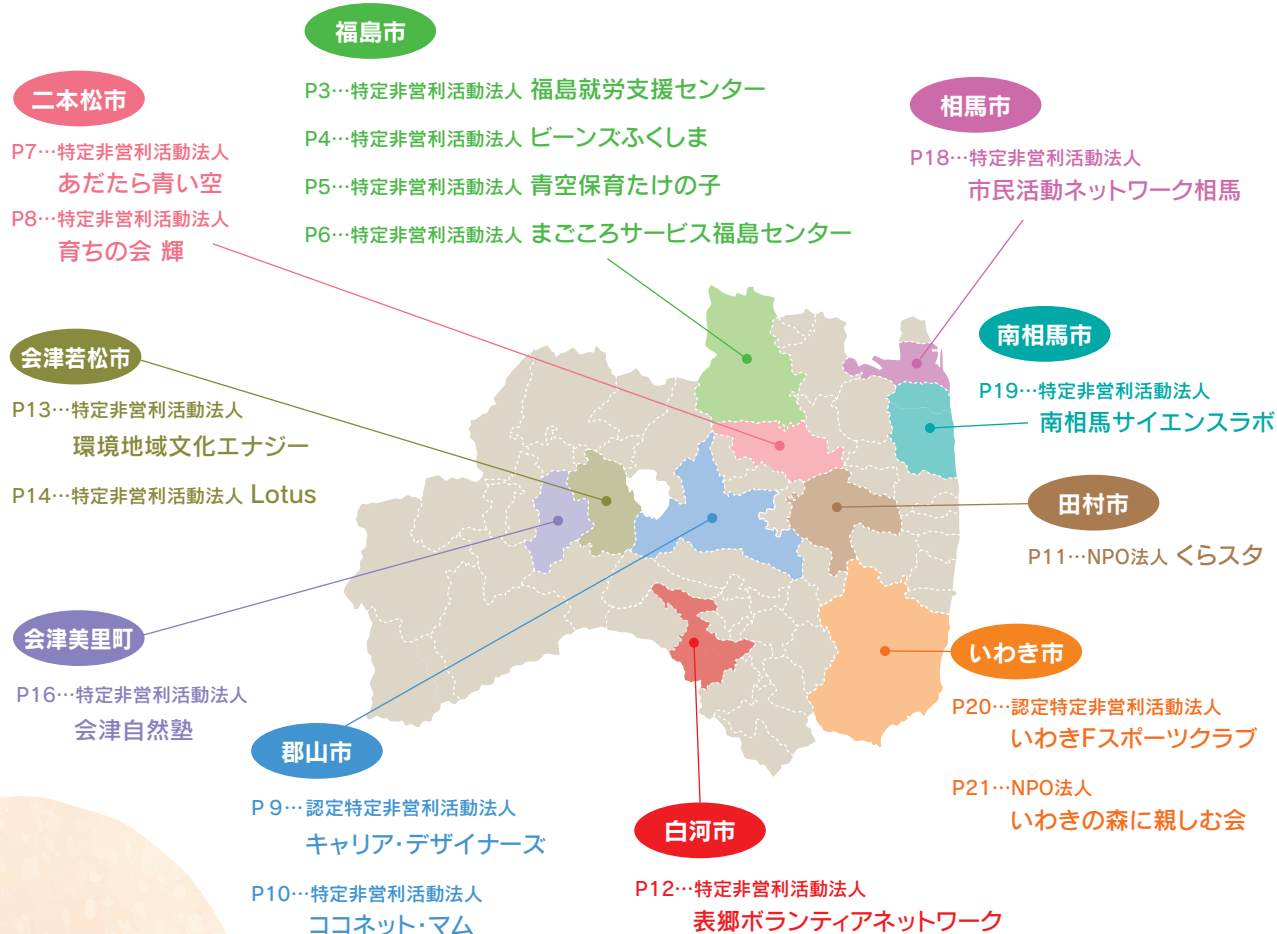
NPO×若者 = 創る!!

目次



▶ごあいさつ	P1
▶事業スケジュール	P2
▶受入れ団体・インターン生紹介	P3
▶インターン生アンケート	P22
▶受入れ団体アンケート	P24
▶活動のアルバム	P26
▶Study meeting	P27
▶ホームページのご案内	P28

受入れ団体





ごあいさつ

チャレンジインターンシップに参加されたインターン生の皆さんが、NPO法人の活動を通して有意義な時間を過ごされたことを心から嬉しく思います。これもNPO法人の皆さんの丁寧かつ熱心な御指導の賜物だと、大変感謝しております。

また、コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社には、企画の立案を始め、参加者の皆さんが安心して生き生きと活動できるよう、事業全般にわたり厚い御支援をいただきました。

本事業は、若者がインターンシップ活動を通じて県内のNPO法人への理解を深め、福島への愛着を育み若者の県内定着を促進するとともに、NPO法人の事業の活性化に繋げていただくことを目的としております。

県では、引き続き、NPO法人や企業等の多様な主体との協働を推進し、復興や地域課題の解決に向け取り組んでまいりますので、今後ともお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

福島県企画調整部文化スポーツ局

局長 永田 嗣昭



コカ・コーラ ボトラーズジャパンでは、「すべての人にハッピーなひとときをお届けし、価値を創造する」というミッションのもと、本業を通じて地域が抱える社会課題に対して、地域のみなさまとの協働による課題解決に向けた取り組みを各地で進めております。

福島県では、社会で活躍する若者の育成と地域の活性化を目的に、2016年より地域・行政・企業連携の新たな取り組みとして進めてきました。

今年も福島県をはじめNPO法人のみなさまとともに本事業を成功裏に収められたことに対してたいへん感謝しております。

コカ・コーラ ボトラーズジャパンでは、今後もみなさまと協力しながら、より豊かであるおいに満ちた明るい未来づくりに取り組んでまいります。

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社

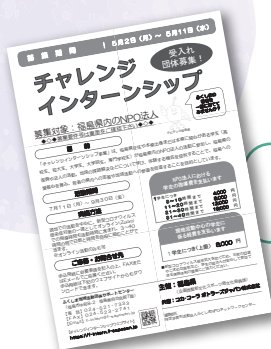
CSV推進部 部長 丸山 竜一郎



事業スケジュール

「チャレンジインターンシップ事業」は、福島県在住や本県出身または本県に関心がある学生（高校生、短大生、大学生、大学院生、専門学校生）が福島県内のNPO法人の活動に参加し、福島県の復興や法人の活動、地域の課題解決などについて学び、体験する機会を提供することで、福島への愛着心を育み、若者の県内への定着や地域活動への参画を促進することを目的としています。

詳しくは [チャレンジインターンシップ 福島](https://f-intern.f-saposen.jp) [検索](#)
<https://f-intern.f-saposen.jp>



受入NPO法人募集
5月2日(月)～5月11日(水)

インターン生募集
5月23日(月)～6月3日(金)

マッチング

インターン生及び受入NPO法人決定
6月17日(金)

3者オリエンテーション(Zoom)
6月20日(月)～6月24日(金)

開講式 会場・オンライン(Zoom)
7月9日(土)郡山商工会議所会館

インターンシップ実施
7月11日(月)～9月30日(金)

第1回インターン生情報交換会(交流会)オンライン(Zoom)
8月17日(水)

第2回インターン生情報交換会(交流会)(会場)
9月10日(土) 郡山市音楽・文化交流館(ミューカルがくと館)

メンター情報交換会 オンライン(Zoom)
9月21日(水)

活動成果報告会・閉講式 会場・オンライン(Zoom)
10月29日(土)郡山商工会議所会館

特定非営利活動法人 福島就労支援センター

地 区 県北 福島市

U R L <https://npo-manabiya.org/>



主な活動 求職活動者に対して就職支援活動に関する事業を行い、地域活性化や職業能力の推進に寄与すること、人々が性別にとらわれず個性と能力を発揮し、男女共同参画社会の実現を目指す支援活動をしています。

受入れ団体コメント 子どもの無料学習教室スタディー☆センター、東日本大震災避難者との生きがい交流、女性の就労セミナーと多岐にわたる活動に参加していただきました。何事にも懸命に取り組み、学び吸収しようとする姿にこちらもやる気や新たな気づきをもらいました。加藤君、受験で忙しい中活動に参加してくれてありがとうございます!そして大学合格おめでとう!これからの未来が光り輝くものになることを願っています☆



インターン生紹介



カ ト ウ リ ユ ウ キ
加藤 龍輝 さん
福島東高等学校3年／福島市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

計6回のインターン活動で、第1回目は事務、第4回目は高齢者の方々との農業交流イベント、第2・3・5回目は子どもたちに教室やZoom上で勉強を教える学習教室、第6回目は女性の就労セミナーの準備を行いました。



Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

今回の活動で人と触れ合うことの大切さを学びました。普段ではなかなか体験できない他年代の方々と交流していく中で、自分の思いを他人に分かりやすく伝えることがいかに難しいことなのかを知り、自分の表現力を鍛える充実した活動になりました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

現在高校3年生なので、これから面接や発表など自分で思ったことを伝える場面が多くなると考えられます。今回の充実した活動の中で育んだ表現力や物事を俯瞰的に捉える視野を活かして、今後の進路や就職活動に活かしていきたいと考えます。

特定非営利活動法人 ビーンズふくしま

地 区 県北 福島市

U R L <https://www.beans-fukushima.or.jp/>



主な活動

生きづらさを抱えた子ども・若者の支援を行っています。私たちは、それぞれに必要な、安心できる地域の居場所をつくり、そこに集う「人と人」、そして「人と地域」との架け橋を繋いでいきます。

受入れ団体 コメント

今年は、高校生の方を受け入れさせていただきました。フレッシュな視点と何事も前向きに取り組む姿に、当団体としてもとっても刺激を受けました。また、インターン中に触れた社会課題がインターン生の方のこれからを考えるきっかけに少しでもなっていれば幸いです。楽しい居場所づくりに精一杯関わってくれたインターン生に心より感謝です！これからもぜひ遊びに来てくださいね！



インターン生紹介



ヨシダ マユコ
吉田 万由子 さん
福島東高等学校2年／福島市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

インターンシップでは、主に来館されたお母さんとそのお子さんと一緒に遊んだり、お話ししたり、館内の装飾制作をしました。午後からの活動だったため、来館者との関わりは少なかったのですが、子育て支援センター「みんなの家」についてよく知ることができました。



Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

子育て支援センターを良く知らなかったのですが、子育て中のお母さんたちが健康な心で子どもと向きあうために、支援センターの職員さんや同世代の子どもを持つお母さん同士が、お話しすることができる場であるということがわかりました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

リアルな子育ての悩みを聞いてみて、自分もここまで育ててくれた両親に感謝しながら生きていきたいです。また、もし自分が親の立場になったら子育て支援センターを利用していきたいと思います。

特定非営利活動法人 青空保育たけの子

地 区 県北 福島市

U R L <https://www.takenoko-aozora.org/home>



主な活動 野外活動を中心とした団体です。保育事業、プレイパーク、食農体験、自然体験、子ども食堂などを行っています。

受入れ団体 コメント

保育やキャンプの時に若い力が入ってくれることは、園児や参加している児童にとって、一緒に体を使って遊んでもらえることがうれしかったようです。インターン生の方々の感想を読んで、そんな子どもたちとのふれあいから少しでも学びがあったのだと思ううれしく思います。



インターン生紹介



フルカワ マ リ ホ
古川 茉莉穂 さん
福島県立医科大学1年／
大阪府吹田市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか
保育、小学生向けのカヌー体験、大人向けの食農教室のお手伝いをしました。青空保育たけの子さんは様々な世代の人と関わることができて、人と人を結ぶ温かい場所だと感じました。豊かな自然でのびのび活動することができました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか
保育では、背が小さいお子さんが多いので、かがんで目を合わせるとお話がしやすくなったり、残さずご飯を食べてもらうために、全部食べたらシールをプレゼントしてスタンプラリーのように貯めていったりと、工夫することで楽しく学んでもらえることに気づきました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

私は将来医療、特に検査の部門に進んでいきたいと思っています。検査で緊張や不安を感じている患者に対して、このインターン活動で学んだ工夫を活かし、安心して検査を受けてもらえるように頑張りたいと思いました。



インターン生紹介



バ バ ミ ユ ウ
馬場 美有 さん
宮城大学3年／郡山市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか
子ども食堂で参加者の方々が調理をする上でのサポートや子どもたちとのふれあい、畑での収穫作業や生ごみを利用した肥料「ぼかし」づくり、普段から農業をしている方々や他の学生との交流、情報交換会などを行いました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか
前から子ども食堂に興味があり、「作る」のは大人が中心で、子どもたちは「食べる」役割を担うのかとイメージしていました。実際は子どもたちが中心になって料理をする場面が多くあり、これから子どもたちが成長する上でとても貴重で重要な経験になると考えました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

今回の活動を通し、普段から美味しく食事ができる有難みや、農家の方への感謝を感じました。そのため、これからこのような「食育」の取組を子どもたちに伝え、自分の生活を支える食べ物について、もっと関心を持ってもらえるような活動をしていきたいです。



特定非営利活動法人 まごころサービス福島センター

地 区 県北 福島市

主な活動

市民参画による在宅福祉サービスを開始し、今年30年を迎えました。助け合い活動に加え介護保険事業に参画し、誰もが安心感を抱く地域づくりを行い、ボランティア活動の拠点づくりも行っています。

受入れ団体 コメント

学童部門(まごころ・どんぐり学童クラブ)のインターン生受入れでしたが、子どもの話し相手、学習支援、遊び等が主でした。緑豊かな自然いっぱいの広い庭で、他校のお友達と楽しい遊びや学びができる環境は他にないと思われます。

世代を越えた助け合いを軸に、みんなが安心して暮らせる地域づくりを市民の手により輪を大きくしていく為のNPO活動を、インターンシップにチャレンジする皆様に体験していただきたいと思います。



インターン生紹介



セキネ ユマ
関根 優麻 さん

郡山萌世高等学校通信課程2年／福島市出身

Q1.インターンシップではどのような活動をしましたか

- ・子どもと一緒に遊んだ ・おやつのお組み合わせを決め袋詰めした
- ・コロナ対策で消毒や換気をしたり手洗いうがいの促しをした
- ・宿題の促しをした ・後片付け、掃除をした
- ・子どもの様子を記録した ・気づいたことをスタッフに話し共有できた

Q2.活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

- ・子どもの言動に気が付いて様子を見ることができた
- ・1年生なのに気づかいができている子がいて素晴らしいと思った
- ・兄弟が下にいるとお家で甘えられないので学童で甘える子もいた

Q3.学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

子どもと同じ目線になり、最後まで話を聞いてあげたり、揉めごとなどの解決ができなかったらこちらからその方法を促したりしました。子どもに分かりやすく説明ができるよう話し方を変えて教えました。子ども第一に考え行動していきたいと思いました。



特定非営利活動法人 あだたら青い空

地 区 県北 二本松市

U R L <https://www.adataara-aoisora.com/index.html>



主な活動 福島復興と子どもの自立支援をすすめるために、①被災者支援と住民交流促進事業②二本松子ども食堂ハラクッチー事業③不登校の子どもの保護者支援事業④子どもの自然体験として森のようちえん事業などを実施しています。

**受入れ団体
コメント**

チャレンジインターンシップには、インターン生に私たちの活動を知ってもらうためや、インターン生のこれからの進路に役立ててもらうために毎回参加させていただいています。参加されたインターン生は皆さん一生懸命に取り組んでいただきました。私たちもインターン生と一緒に活動する中で、私たちの取り組みの至らない点を度々発見することもありました。これからもインターン生やNPO法人にとって、とても有意義なチャレンジインターンシップをより発展させていただきたいと思います。



インターン生紹介



サ ク マ カ ナ ミ
佐久間 佳奈美 さん
山形大学3年／二本松市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

子ども食堂のお手伝いをさせていただきました。子ども食堂では、参加者全員で昼食をつくり、食べ、その後は子どもたちと一緒に塗り絵やお絵描きなどをして遊びました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

これまで、子ども食堂というと子どもの貧困を解決するための場所だと考えていました。しかし、今回の活動を通して、子ども食堂は親子だけでなく親同士、子同士のふれあいの場にも成り得ることを学びました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

今後すぐに自分の手で子ども食堂のような場所をつくることは難しいと思います。しかし、常に社会に対して問題意識を持ち、その問題を解決するための方法を考えて、誰かを助けるための活動ができればいいと思います。



特定非営利活動法人 育ちの会 輝

地 区 県北 二本松市

U R L <https://www.npo-sodachinokai-kagayaki.com/>



主な活動 0歳から18歳までの障がい児等の障がい状態の改善を専門とする通所支援・児童福祉施設です。

受入れ団体 コメント

子どもたちと一緒に遊びながらどんな支援をしたら良いか、熱心に質問し、実践し、関わる姿が印象的でした。インターンで学んだことを将来の選択の参考にさせていただけたら幸いです。またいつでも遊びに来てください！



インターン生紹介



シギハラ リコ
嶋原 莉子 さん

福島東高等学校2年／二本松市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

主に未就学の障がいを持つ子どもたちと一緒に過ごしました。障がいを持つ子どもたちと遊びながら接していく中で、子どもたちの行動や身振りをじっくりと観察し様子を見て、施設の先生のお話を聞きながら、健常者との違いを理解し学びを深め、関わり方を身に付けていきました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

障がいを持つ子が普通の子がしないような行動を取った時、私たちがその全てに反応し手伝うことは、その子にとってはかまって貰えたと思い、かえって行動が改善されない原因となることを知りました。そういった障がい児特有の接し方を活動の中で身を持って学びました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

今回学んだ様々な知識は障がいの有無に関わらず、子どもたちが身体的・能力的に成長していく姿の見守り方、手助け方を学ぶことができたので、自分自身が将来子どもを育てることになった時にも役立てたいし、できるだけ多くの周りの人にも教えられるようにしたいです。



地 区 県中 郡山市

U R L <https://npocd.jp/>



主な活動 いわゆるニートやひきこもり経験者の社会参加・就労自立支援の活動を行っています。活動内容として①地元企業での就労体験・ジョブトレーニング、②就労準備の講座、③交流会・居場所活動、④保護者会、⑤一般向け学習会(セミナー)を実施しています。

受入れ団体コメント 就労体験、講座(パソコン、ビジネスマナー、コミュニケーション)など、当法人の活動に目標を持って意欲的に参加されていました。加えて、NPO運営の事務作業も手伝ってもらいました。利用者(メンバーさん)、ボランティア、スタッフらとのコミュニケーションも取れていました。今回のインターンシップで経験したこと、学んだことを将来の進路にぜひ活かしてください。インターンに来ていただきありがとうございました。



インターン生紹介



カン ノ キラク
菅野 来楽 さん

ケイセンビジネス公務員カレッジ1年/
郡山市出身

Q1.インターンシップではどのような活動をしましたか
インターンシップの活動では、事務作業やアパート清掃、ピーマンの選果、コワーク、エンカレッジ講座などの活動があり、色々な年代の人とコミュニケーションを取りながら行う活動が多くありました。

Q2.活動を通してどのような学びや気づきがありましたか
活動を通して、コミュニケーション能力の大切さや自分から積極的に動くことの重要性を学びました。また、コワークやエンカレッジ講座では、幅広い年代の方との会話や作業間でのコミュニケーションなどで将来への視野が広がったような気がします。

Q3.学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

今回のインターンシップ活動を通して学んだこと気づいたことを、今後の日常生活や、人と関わる仕事・活動を行うときに活かせるようにしていきたいです。また、日々の生活の中では経験できない貴重な体験ができたと思うので活動を生活の中で活かせる場を作りたいです。



インターン生紹介



ヤ ナ イ ア ユ リ
矢内 歩莉 さん

あさか開成高校3年/郡山市出身

Q1.インターンシップではどのような活動をしましたか

- ・事務作業やアパート清掃
- ・コワーク(事務所軽作業)
- ・エンカレッジ講座
- ・ピーマンの選果



Q2.活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

オリエンテーションで、社会人になってから「ひきこもり」となる人も多く、誰でもひきこもりになる可能性があるのだと知りました。また軽作業では淡々と行われたが、どの作業も一つ一つ活動に必要なのだと気づきました。

Q3.学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

ひきこもり者の数や誰でもなる可能性があるということを知って貰う。そして一人で悩まずに、気軽に相談できる所があるという事を少しずつ広めていき、誰かの心の支えになるような言葉がけをしていきたいです。

特定非営利活動法人 ココネット・mam

地 区 県中 郡山市

U R L <http://www.coconetmamu.net/>



主な活動

子育てをしながら感じた「あったらいいな、こんなサポート」をやってみようと平成16年に立ち上げました。子どもと子育てに関わるみんなが笑顔で過ごせることを目的として学童保育室と託児サポートを中心に活動しています。

受入れ団体コメント

学童の一スタッフとして夏休みの学童保育に関わっていただき、ありがとうございました。夏休みなので、イベントも多く、学童に来ている子どもたちはいつも以上にパワフルだったので、インターン生のお二人が負けちゃわないかなと心配もありましたが、子どもたちは、インターン生と過ごす日々を楽しんでいました。お二人が子どもたちに寄り添いながら関わってくれたからですね。この経験がお二人の進路を決めるお役に立てれば良いと思います。



インターン生紹介



マカベ
眞壁 きらり さん
福島学院大学1年/郡山市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか
私がお世話になったココネット・mamは学童保育だったのですが、身を持って子どもたちとの接し方を学べたなと感じました。室内や外遊び、行事の手伝いなど様々なことを体験させていただきました。おやつの時間なども子どもたちが食べている姿を近くで見守りました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか
足を怪我して、走らないようにと声をかけていたのですが、どうしても気持ち優先で走ってしまう子がいました。ダメなことはダメと、注意することの難しさ、分かってもらえるような説明の大切さを学ぶことができました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

一番学んだことは、説明することの大切さでした。子どもたちに分かりやすく説明できる表現の仕方を知ることができたインターン活動になりました。一つダメだからあきらめるのではなく、違ったアプローチをしてみたり、いろいろな方向から考えていきたいと思っています。



インターン生紹介



モノエ
物江 みのり さん
尚志高等学校1年/郡山市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

小学生の児童をお預かりする学童保育事業のサポートをしました。屋外で鬼ごっこやリレーをして遊んだり、昼食の見守りをしたりしました。縁日の準備や運営にも携わりました。



Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか
子どもは、元気いっぱい色々なものに興味をもつと気づきました。見守る側も体力を使いますが、子どもたちが楽しそうに遊んでいるのを見るとパワーをもらいました。子どもの興味や個性に合わせてサポートする必要があると分かりました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

将来は、システムエンジニアになりたいと思っています。子どもたちと関わったことで、子どもの興味や個性は様々だと知りました。今後は、子どもでも扱いやすいシステムを開発できるように、この経験を活かしていきます。

地 区 県中 田村市

U R L <http://tamura-ouentai.org/>



主な活動

東日本大震災を契機に組織された「田村市復興応援隊(平成25年～)」の運営を主に、被災地田村市都路町を中心に復興支援・地域振興・居場所作りなどの活動を行っています。

受入れ団体 コメント

当法人は、東日本大震災を契機に設立され、地域の人々が「自分の居場所」や「自分らしい生き方」を実現することをお手伝いする活動を行っています。今回、高校生のインターンを初めて受け入れることができ、当方にとっても学びの機会となりました。自らも楽しみ、お客様の楽しみをも提供してくれた活動に改めて感謝いたします!若松さんの将来の夢が叶いますように!そしてまた遊びに来てください。



インターン生紹介



ワカマツ セイナ
若松 聖奈 さん
尚志高等学校2年/田村市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

利用者さんと一緒に手芸をしたり、ワークショップを行う上での事前準備を行いました。また、田村市内にある他の事務所や自分でこれまで行ったことのない所に連れて行っていただきました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

今まで地域の色々な年代の人たちと話す機会がなく、今回のインターンシップで初めて色々な人たちとコミュニケーションを取ることができました。実際に話してみると地域の人たちはとても優しい人たちが多くいるということを実感することができました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

今回のインターンシップを通して、以前に比べて初めて会った人と話すことへの抵抗が少なくなったなと感じます。私が目指している看護師という職業は、人と人のコミュニケーションがとても大切なので、今回の経験が将来に役立つと感じました。



特定非営利活動法人 表郷ボランティアネットワーク

地 区 県南 白河市

U R L <https://omotego.wixsite.com/omotego>



主な活動 「生まれてきてよかった、住んでいてよかった」地域づくりを目指して、災害福祉、環境、文化交流の分野で活動しています。高齢者の見守り生活支援、お買い物代行、居場所づくり事業も行っています。

**受入れ団体
コメント**

今回初めてチャレンジインターンシップの受け入れ団体となり、お二人の学生さんに当団体で活動していただきました。行き届かない面があったかもしれませんが、まずはお二人とのご縁ができ、ともに活動していただいたことに感謝申し上げます。お二人とも短期間の中で活動内容や課題などを柔軟に捉える観察力と対応力を発揮され、若い力を改めて実感しました。活動終了後にイベントにも参加していただき、その後も交流が続いております。これからもお二人のご活躍を期待し、応援しています。



インターン生紹介



スズキ ケイコ
鈴木 景子 さん
専修大学3年／千葉県千葉市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

- ・高齢者見守り支援事業（高齢者宅への買い物代行及び移動販売）への同行
- ・受け入れ先主催の「ふれあい夏の集い」の準備及び後片付け
- ・地域名物（11年来）の手づくり絵本の製作体験



Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか
買い物支援は、交流の機会づくりや健康確認の側面が強かったです。また、地域外の人によるボランティアは、はじめ距離をおかれることが多く、相手から声をかけてもらうのを待つのではなくまず先に心を開く態度が重要だと気づかされました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

ボランティア活動をはじめ、その他の活動でも目的と手段とを切り分けて活動するように心がけたいです。また、福島県への1ターンで地域と人々に根差した活動ができるように、人との距離の詰め方を模索していきます。

インターン生紹介



イマイズミ ミフ
今泉 未楓 さん
郡山高校2年／郡山市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

高齢者へのお買い物代行、お買い物支援事業や高齢者とお話をしたりイベントへの参加だったり地域に役立つ活動。実際にお買い物をしたり、お金を扱ったり実践的に活動することができた。



Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

行政の支援だけでは支援を必要としているすべての方に行き届かないため、一人一人に寄り添うことができるNPOが非常に重要ということ。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

私が学んだことや気付いたことを学校の友達に広く伝え、積極的にNPOのイベントなどに参加できるような仕組みを、学校の生徒会活動などに取り入れられたらいいと思います。

特定非営利活動法人 環境地域文化エナジー

地 区 会津 会津若松市

U R L <https://aizu-teco.space/>



主な活動 平成28年から「移住・定住」の促進に力を入れて取り組んでいます。令和3年度より会津若松市から「会津若松市定住コネクトスペース」の施設管理運営を受託し、地域の移住活動の中核として活動しています。

受入れ団体コメント 何を経験したいかがクリアなインターン生だったので、効率的で有益なインターンシップができたと思います。一般的に移住というテーマは短期間で何事かを習得するのは難しいテーマだと思うので、事前の課題整理や学習が大変重要であることも理解できました。次年度以降継続する場合は、特定の書籍を事前に読んでから参加してもらう等、効果的な事業にしていきたいと思っています。



インターン生紹介



コンノ アヤカ
昆野 綾花 さん
会津学鳳高校3年／
会津若松市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか
福島県の移住・定住について学び、実際に県外から移住されてきた方のお話を聞き、今後移住の人口を増やすためにはどうすればいいのか話し合い最終的にまとめて発表しました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気付きがありましたか
今まで知らなかった移住・定住についての知識を得ることができました。その知識を得る過程で、福島県には都市部にも劣らない魅力があるということも学びました。また、今回参加しなければ出会うことができなかった多くの人に会うことができました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか



将来私は地域を支えることができたいと思っており、地域貢献ができる仕事をしたいと考えています。その際の経験として、今回の活動を活かしていきたいです。福島県にもっとたくさんの人を呼ぶために、今回得た移住・定住の知識を活用したいです。

インターン生紹介



ササキ セイ
佐々木 星 さん
岩手大学3年／会津若松市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか
NPO法人の設立の経緯や運営の仕組み、社会での位置づけ、団体の活動や「移住・定住」に対する考えを聞いたり、実際に移住された方とお話ししたりしました。そしてそれらの活動から今後「移住・定住」をより推進していくためには何が必要か、考えをまとめて発表しました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気付きがありましたか
そもそも「移住・定住」の推進に向けて活動する団体があるということを知りました。そして移住という人生の選択肢がこんなにも豊かなものなんだということも知ることができました。しかし、「移住・定住」を推進するにはミクロの面でもマクロの面でも課題が数多く存在するため、一団体の力ではその解決に限りがあることも分かりました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

今回のインターンで行った活動は、日本の抱える地域の課題に深く関連する内容でした。そのため活動の中で生まれたアイデアは、今後の就職活動において自分が将来何をしたいか考える一つの要素になったと考えます。今回の活動を就職活動、そして仕事にも活かしていきたいと思っています。



特定非営利活動法人 Lotus

地 区 会津 会津若松市

U R L <https://www.lotusjapan.org/>



主な活動 地域の子育て環境の充実を目指し、保育園、ワーキングスペース付屋内遊び場、シェアオフィスと木製ジム、モノづくり体験カフェが併設されたまちの駅を運営しています。

受入れ団体 コメント

インターン生たちへLotusの歴史や思いを伝えていく中で、改めて私たちの目指している子育て支援の在り方とは何なのか考える良い機会になりました。各施設での体験を通して子育て支援には様々なカタチがあることを感じて貰えたら幸いです。それらの経験が皆さんの将来の夢や目標へ繋がるキッカケになることを願っております。



インターン生紹介



ヤハタ ユキノ
八幡 薫乃 さん

宮城大学3年／宮城県仙台市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか



まちの駅でのオリエンテーションをはじめ、木で作られた玩具がたくさんある室内遊び場での子どもの交流、親御さんへのヒアリング。また、道の駅ふくしまでのイベントのお手伝いをさせていただきました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか
「子育て支援」といってもそれを取り巻く地域の環境を変えることが重要であり、そのために団体の存在を地域全体に知ってもらう必要があること。NPOだからできること、NPOだからやらねばならないことの2つの面を実際に体験することができました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか
大学では地域創生について学んでおり地域課題に関して考えることが多いため、今後は今回学んだ「1つの事象が持つ多方面の繋がり」を意識しながら解決へのアプローチを考えたいです。また、地域社会の一員としてNPO団体の想いに共感できる人でありたいです。

インターン生紹介



マルヤマ エリ
丸山 愛凛 さん

会津学鳳高等学校2年／磐梯町出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか



子育て支援センターのもくれんでは、来てくれた子や親御さんに寄り添いながら遊んだりお話ししたりしました。保育園では、スイカ割りやプール遊び、折り紙や絵本を読むなどして遊びました。夏祭りイベントでは、保育園の先生と一緒にくじを担当しました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか
保育園の先生方やもくれんの職員の方が、どのようにしたら子どもたちが楽しんでくれるのかを考えながら企画していることを知り、大切なことが学べました。子どもたちの気持ちも考えながら行動することが大事なんだと感じました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか
将来は幼児教育関連系に進みたいと考えているので、インターンシップで学んだ貴重な経験が無駄にしないように進路活動を進めていきたいと思います。そして、実際に現場で活かしていけるように頑張りたいと思います。

インターン生紹介



ツチヤ ノドカ
土谷 永花 さん

会津西陵高等学校2年／
会津若松市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか



保育園で子どもたちと折り紙などで遊んだり、一緒に給食を食べたりしました。また、Lotusが運営している遊び場では、子どもたちを見守りながら一緒に遊びました。保育園には小学生の子どももいて、広い年齢の子どもと接することができました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか
今回のインターンシップでは、どうしたら子どもたちを楽しんでもらえるのかを考えるあまり、表情が硬くなってしまった部分がありました。子どもに楽しんでもらうには、まず自分が楽しむことが必要だということに気づきました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか
将来教育系の仕事に就きたいと考えているため、今回のインターンシップが、将来の子どもとの関わり方を明確にするきっかけとなりました。その中で、今回学んだ子どもへの接し方や、自分の心の持ち方などを活かしていきたいです。

インターン生紹介



ヨシダ ミキ
吉田 未希 さん

会津学鳳高等学校2年／
宮城県仙台市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか



もくれんに遊びに来てくれたお子さんと親御さんの様子を見守りながら一緒に遊びました。保育園では外遊びをしたり、一緒に本を読んだりしました。保育園に通っている子どもたちの夏祭りでは、お菓子釣り屋さんを担当しました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか
自分が想像しているよりも、子どもたちはとても元気でありそして好奇心旺盛であることを改めて知り、親御さんはそれに伴う悩みが今増えつつある事も知りました。会津若松市にも改善するべき場所が多い部分は、教育者の立場からしたら最大の悩みだなと感じました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか
Lotusさんで活動させていただけたことは本当に貴重な体験になりました。大学進学に向けての進路活動をより明確にしていき、自分がどのような所に就職したいか考える所までの、材料として活かしたいと思います。

特定非営利活動法人 会津自然塾

地 区 会津 会津美里町

U R L <https://aizu-shizenjuku.jimdofree.com/>



主な活動 有機農業で地域おこしを目指し活動して20年になります。有機農家7軒が中心となり、70名の会員と宅配事業・加工事業を中心に楽しく活動しています。

受入れ団体 コメント

10代の3人の方に、農業とりわけ有機農業に関心を持ちインターン先を選んでいただきましてありがとうございました。会津自然塾では、農業の6次化にも取り組んでおり、宅配作業、マルシェでの販売、食品加工といろんなことにチャレンジしていただきました。インターン生との活動は私たちにとっても楽しいものでした。世代を超えて交流する機会をいただき感謝いたします。



インターン生紹介



イノマタ サーシャ
猪俣 咲紗リン さん
会津大学短期大学部2年／東京都出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

有機野菜の通販の発送準備、マルシェの手伝い(季節や日によって違う野菜)、農家さんとの交流会。実際に農業をやっている方々の話を聞いて自分の知識を増やすことができました。また、商品加工では有機野菜の加工ポイントを知ることができました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

有機野菜栽培の難しさを学びました。害虫や雨の被害、草むしりの大変さも実感しました。また、人の労力がかかることから、どうしても値段が上がってしまいがちになること。しかし、安全安心というメリットが目に見えるのは良いと思いました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

農業に興味があったので参加したのですが、現状を知ることでは始められないと思いました。しかし、自分が行動することで、福島県(日本)の農業を少しでも助けることができたらいいなと思いました。まずは農業に参加することから始めたいと思います。



インターン生紹介



ノムラ ミユ 野村 実祐 さん

会津農林高校1年／会津美里町出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

ふるさと納税の返礼品などの野菜を段ボールに詰めて郵送できるようにしたり、マルシェで新鮮な野菜やその加工品の販売をしつつ、農家さんのお話を聞かせていただいたり、会津自然塾と関わりのある写真家の方のお話を伺ったりしました。



Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

農家さんごとに、野菜の育て方・料理の仕方など様々で、皆さんがそれぞれの方法で丁寧に育ててくださっているのだということと、苦手な野菜も工夫次第でおいしくいただけたりするので、ちょっとした工夫が大切だという事を学びました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

自分が実際に学校などで作物を栽培・販売する時に、インターンシップ先で学んだことを思い出し、実行していきたいです。また、人との関わり大切さを学んだので、これから農家として一歩踏み出す時は、周りの方との関わりを大切にしたいです。

インターン生紹介



クボタ スイ 窪田 翠 さん

福島南高校3年／福島市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

野菜の箱詰めや販売、ジャガイモの収穫などを体験させていただきました。1日のみの活動だったので加工の方は体験できなかったのですが、そのまま食べた方が美味しい作物と加工した方がおいしい作物の違いがあると知り、野菜の個性を生かしていると思いました。



Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

有機作物を実際に食べることで、通常の作物との違いやこだわりを知ることができました。温暖化による動物の被害など、違った視点からの農業についても学び、普段はあまり気が付かない事を生産者の方々に教えていただきました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

今回、農家の方々の話を実際に聞いた体験を活かし、将来の夢である農作物品種改良研究者になった時、農家の人に寄り添った視点で研究を進められる研究者になれるよう活かしたいと思いました。自分だけでなく他人の健康も気づかえるようになりたいです。

特定非営利活動法人 市民活動ネットワーク相馬

地 区 相双 相馬市

U R L <https://satobatake.fc2.net/>



主な活動

東日本大震災により被災した、福島県浜通り地域の市民活動団体の中間支援及び歴史文化資産の保存並びに地域の地場産品の活性化、農業の6次化等に取り組むことを目的として活動をしています。

受入れ団体 コメント

インターン生の築田君。お疲れさまでした。地域の歴史をしっかりと学んでいて、郷土に対する思いを感じ取ることができて、私たちも大変刺激を受けました。これから就職活動を行って就職する、新しい地域や職場での活躍を期待しています。わずか1か月程度の短期間の取組でしたが、これからの長い職業生活の新たな1歩のきっかけづくりとして私たちも引き続き繋がっていきたいと考えていますので、時間があればいつでも遊びに、また、近況報告に来てくださいね。待ってます。



インターン生紹介



ヤナダ ダイチ
築田 大地 さん

東北学院大学3年／喜多方市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

インターンシップでは、相双地区の歴史や文化、民俗などを博物館や相馬中村城といった史跡、相馬野馬追といった祭事を通じて学習し、相双地区がどのような土地であるかを知った上で、勉強会やパソコン塾などの市民活動の運営のサポートも行いました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

活動を通じて、失敗を恐れて何も行動しないよりも、実践をすることによって自分にとってかけがえのない知識や経験を得られるということを学びました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

今後の学生生活では、専門である歴史以外のことにも興味を持って調べたり学習するのはもちろん、他者も巻き込んだ行動・挑戦というアウトプットを積極的に行っていきたいです。



地 区 相 双 南 相 馬 市

U R L <http://www.sciencelabo2011.com/>



主な活動 主に親子を対象とした様々な体験教育活動を行っています。私たちは知らないことを理解することや、学校や図鑑などで知っていた知識を、体験を通して理解する時に感じる「感動」と「幸せ」をいかに多く作っていくかを大切にしています。

受入れ団体 コメント

今回、特に「仕事とは何か」を知りたいと言ってやってきたインターン生は、私たちが親子を対象としたイベントを開催する前に、たくさん準備をしていたことを知って驚いていました。主に畑仕事を手伝ってもらいましたが、汗をかいて、やり切った時に充実感を強く感じたようです。大変な作業の連続でしたが、最後には自分のやりたいことをやって、社会に貢献することが仕事だと分かってもらえた様に感じました。



インターン生紹介



タダノ リン
只野 鈴 さん

相馬高等学校3年／
南相馬市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか
親子イベントの準備や補助を主に行いました。子どもたちや保護者の方が、自然や食、歴史などを楽しく学べるようにお手伝いを行いました。

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか
子どもたち、一人ひとりの性格や年齢に配慮することの大切さに気づきました。子どもたちだけではなく、活動を通して保護者の方とコミュニケーションをとるようにしました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか



今回の活動で学んだ子どもたちへの配慮の仕方などを将来の希望職業へ生かしたいと考えています。また、NPO法人の活動に参加した経験を活かして、地域の活性化に貢献していきたいです。

インターン生紹介



オカ リュウノスケ
岡 龍之介 さん

東北文化学園大学2年／
南相馬市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか
・イベントの準備、手伝い
・チラシづくり、配り
・畑の耕し、畝づくり、草刈り

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか
インターンに参加してみて、団体は一つの目標を達成するためにみんなで力を合わせて活動しているということを学びました。目標を達成するため、全員で協力して準備をすることが大切だと感じました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

今回の活動で学んだことは、将来必ず役に立つと思います。これからも経験をどんどん積み、南相馬サイエンスラボで学んだ協力することの大切さやコミュニケーション能力を養っていきたいです。また、事前準備の大切さを忘れないよう励んでいきます。



認定特定非営利活動法人 いわきFスポーツクラブ

地 区 いわき いわき市

U R L <https://iwakifureai.org/>



主な活動

「いつでも、どこでも、だれでも」参加できる総合型地域スポーツクラブとして、各種スポーツとジャズダンス、ヨガ教室等8種目の「多種目、多志向、多世代」といった3指標のもとに地域に根差した定期活動を推進しています。

受入れ団体 コメント

今回初めてインターン生を2名受け入れてみましたが、その中の1名が以前に当クラブで活動していた方が応募してくれて、大変感激いたしました。二人とも子どもが大好きなタイプで誰からも愛されることは太鼓判を押しますので、今後も是非連絡なり、顔を見せてくれることを期待しています。ありがとうございました。



インターン生紹介



ヒロセ リノ
廣瀬 凜乃 さん

東北文化学園大学2年/
いわき市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

- ・スポーツクラブ活動
(ジャズダンス、野球教室)
- ・蕎麦カフェの接客
- ・子ども食堂の料理の手伝い
- ・子どもワイワイ塾



Q2. 活動を通してどのような

学びや気づきがありましたか

スポーツクラブ活動を通して、子どもの交流や成長ができる場所であると分かりました。そこだけで終わらず、子ども食堂につながっており、輪が広がると共に笑顔も広がる素敵な場所であることが2日間を通して気づけました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

今回はスポーツを通し笑顔になれる、成長できる、そして人と人の輪が広がる場所を、地域が提供できることを理解できました。大学では社会学を専攻しており地域についても学ぶため、今回の経験を持ち帰り、もっと理解を深めたいです。

インターン生紹介



カミヤ マホ
神谷 麻帆 さん

磐城緑蔭高等学校2年/
いわき市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

- ・小学生と一緒にバドミントン・野球・ジャズダンス
- ・子ども食堂のお手伝い、蕎麦カフェのお手伝い
- ・県内避難者、帰還者心の復興事業でストレッチとボッチャに参加



Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

子どもたちが笑顔で楽しそうに体を動かしている姿を見て、とても嬉しくなりました。生き生きとした姿を見てスポーツが人々を結びつけていることを実感しました。また、美味しそうに食事をする姿を見て、食事をする事の大切さについて改めて気づきました。

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

時間がある時にこれからもFカフェ子ども食堂のボランティアに参加したいのと、スポーツが人々に与える影響について自分自身で学んでみたいと思いました。まずは2年間お世話になったバドミントンクラブにお手伝いに行きたいと思います。

NPO法人 いわきの森に親しむ会

地 区 いわき いわき市

U R L <https://iwaki-mori.jimdo.com/>



主な活動

湯ノ岳丸山公園の奥にあるいわき市林業研修センター「湯ノ岳山荘」を拠点に、その周辺の里山を整備し、市民に里山の良さや憩いの場所を提供する活動をしています。

受入れ団体 コメント

本会は、現在、人の手が入らなくなった「里山」(裏山)を、人と自然がほどよい距離で関わり合える場作りを、会員のみならず、一般市民も巻き込みながら整備しております。

今回、受け入れた兵頭さんは、自然への興味関心が高く、自然の中で働く楽しさをインターン期間中に実感できたのではないかと思います。

今回の経験をきっかけに、自然をますます好きになってもらい、自然環境保全の活動にも関わっていただければと願っています。



インターン生紹介



ヒョウドウ ヨシミツ
兵頭 和全 さん
玉川大学2年／茨城県常総市出身

Q1. インターンシップではどのような活動をしましたか

- ・クヌギの支柱作り
- ・栗園の入り口の整備
- ・薪運び
- ・里山案内の手伝い

Q2. 活動を通してどのような学びや気づきがありましたか

- ・里山についての知識、整備、案内の仕方
- ・真夏での作業とその対策
- ・声を掛け合うことの大切さ

Q3. 学んだことや気付いたことを今後どのように活かしていきますか

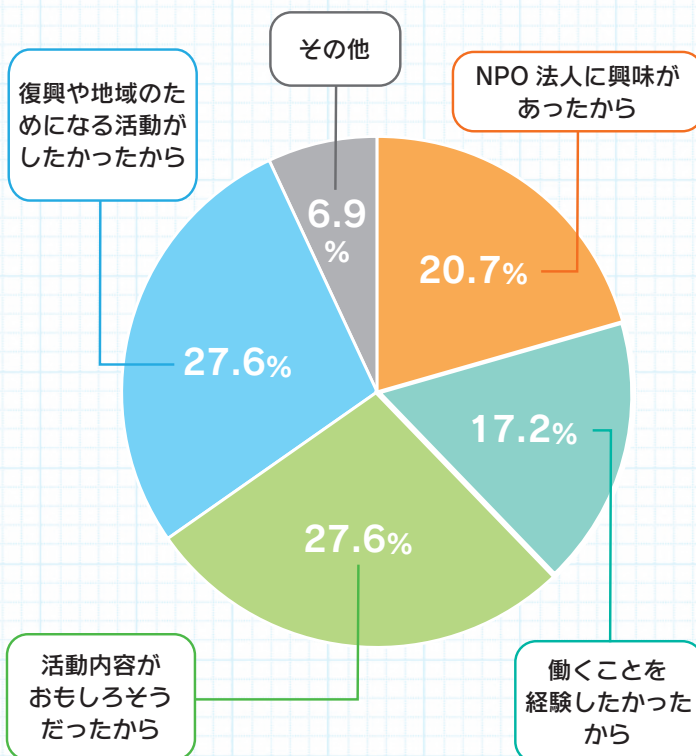
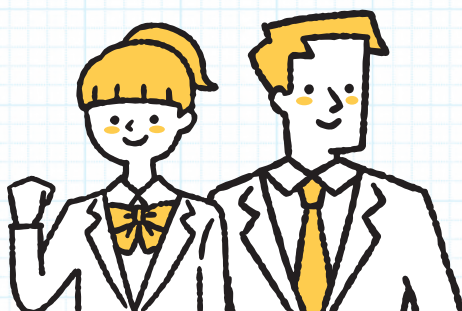
里山などの自然維持活動に活かしたいです。里山だけでなく、福島自然についても多く知ることができたので、福島で農業に関わった時に活かしたいです。



インターン生 アンケート

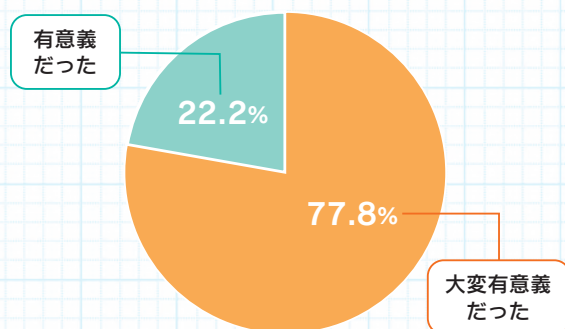
Q1.

インターンシップへの参加を決めた一番の理由は何ですか？



Q2.

活動してみてどのように感じましたか？



- 活動し終わった後で、とても今年の夏休みが充実したな!と思ったことと、活動が終わった後も団体さんとも今も関係を持つ事ができている。
- NPO法人は固いイメージがあったが、活動に参加したことで、そのイメージが払拭された。
- 普段関わることがない年代の方々と交流できた。
- 自分の知らない世界を経験し、人の為だけでなく自分のためにもなった。

- 子どもたちや職員の方々と関わる機会が多く、自分にとって貴重な経験ができた。
- 受入NPO団体の方々や地域と、今後にも繋がる関わりを持つことができた。福島県内の地域での活動に触れ、地域課題やその原因について考えるきっかけになった。インターンシップ事業やNPOの活動を取り巻く環境（行政や民間企業、外部団体の関係や役割）について考えを深めることができた。
- 普段は遠い存在であったNPOが近く感じられた。
- このインターンシップに参加しなければNPO法人というものを身近に感じることはなかった。また、障がい児施設では初めての経験ばかりさせていただいて自分自身を成長させることができた。
- NPO法人で働いている人たちの想いや願いを直接聞くことができた。
- 初めてのことが多く、楽しいことばかりではなかった。

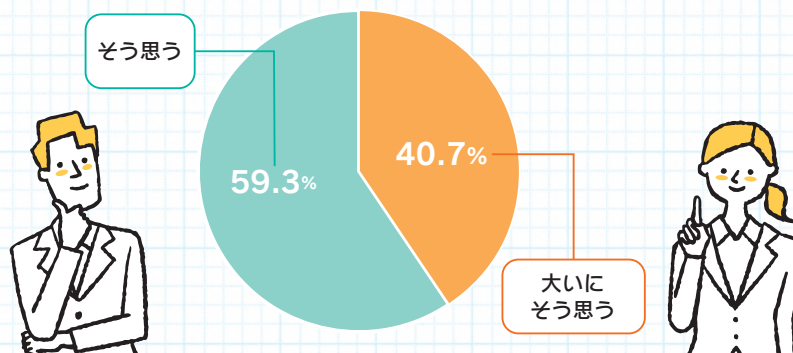


Q3. NPO 団体で活動した経験を今後どう活かしていきたいですか？

- 周りの人にも勧めて、この体験の素晴らしさを伝えたい。大学生になっても参加したい。
- 私自身、保育の道を希望しているのでこれからやる教育実習や、普段子どもと関わる機会の時に活かしていきたいなと思っている。
- 当初は活動参加に迷いがあった。しかし、思い切って活動に参加したことで自分の成長につながったと思う。これからは、積極的にボランティア活動などに参加していきたい。
- 子どもから大人まで様々な人と関わったことを医療の現場でコミュニケーションとして活かしていきたい。
- 行政でも、一住民としてでもできない、独自の視点や人材を含めた資源を生かしての活動を起こせるようにする。地域の様々な状況を良くするために、多世代に関心を払うべく色々な属性の人と関わりあう。
- 今後の就職活動や自分の進路を考える際の選択肢の一つとして活かしていきたい。
- 自分の視野を広げるための役に立てたい。
- これから何事にも勇気を出して積極的にいきたい。
- 人と人との繋がりを意識して、大切にしていきたい。
- お世話になっていた地域のスポーツクラブでボランティアしたい。
- 実習で実践したり将来の方向性を決める時に役立てたい。
- 里山だけではなく、自然の環境をよくできるような活動に関わって活かしていきたい。
- 私たちの身近な場所で見かける NPO 団体の募金への積極的な参加や、将来の選択肢の一つとして考えていきたい。

Q4.

今後も NPO に
関わっていききたいですか？



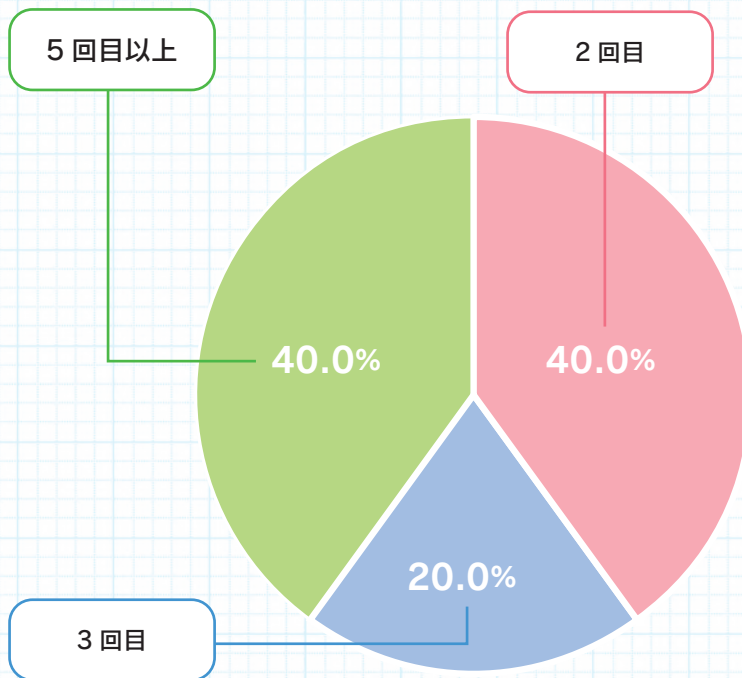
その他の感想

- 今回の活動は非常に有意義な体験でした。正直 NPO 法人の活動はまだ世間には認知されていないと思うので、こういった活動が今後より広まり、携わる人がより増えればいいと思います。
- NPO やその他の団体に協力する為の具体的な方法を知ることができ、将来に誇れる体験ができた。人間関係の輪がインターンシップを通して広がり、自分の財産となった。
- NPO の活動を具体的に知ることができ、ボランティアの大切さを学べて自分にとってとても大きな経験となった。大学生、その先になっても今回の活動で得られた広い視野を活かしていきたい。
- 学びやすい機会をいただけて本当によかったなと思いました。座学ももちろん大切ですが、座学からだけでは学べないことがたくさんあるなと感じられた活動でした。コロナの影響で、予定より少ない日数での参加になってしまったことが心残りではありますが、今回学べたことは印象深く頭に残っていて、これから活かしていけるのだらうなと思いました。
- 児童とのふれ合い方や NPO、SDGs、福島の良さなど、自分の知らなかったことを知ることができ、自分自身の成長に繋げることができました。学んだことを身近な人など多くの人に広めたいと思いました。

受入れ団体 アンケート

Q1.

継続参加されている回数を教えてください。

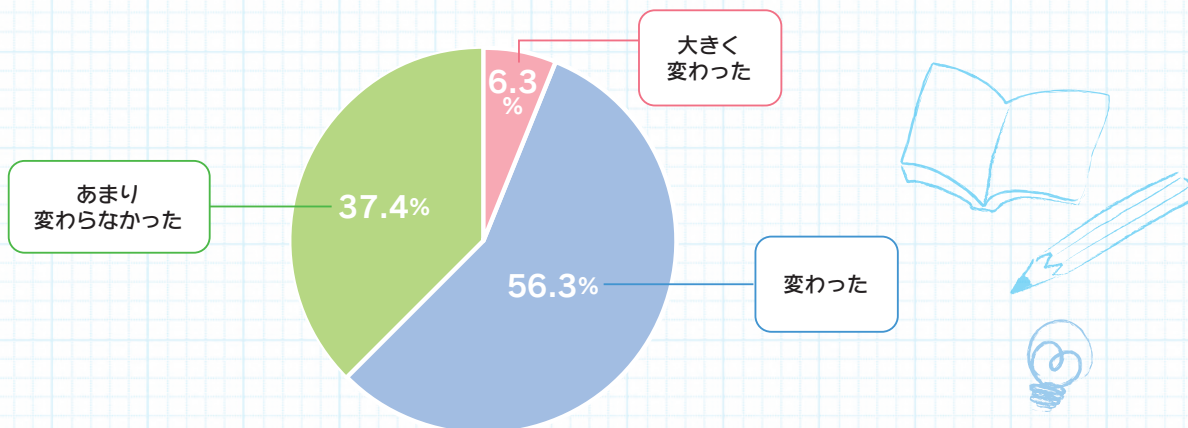


Q2. 応募を決めた一番の理由を記入してください

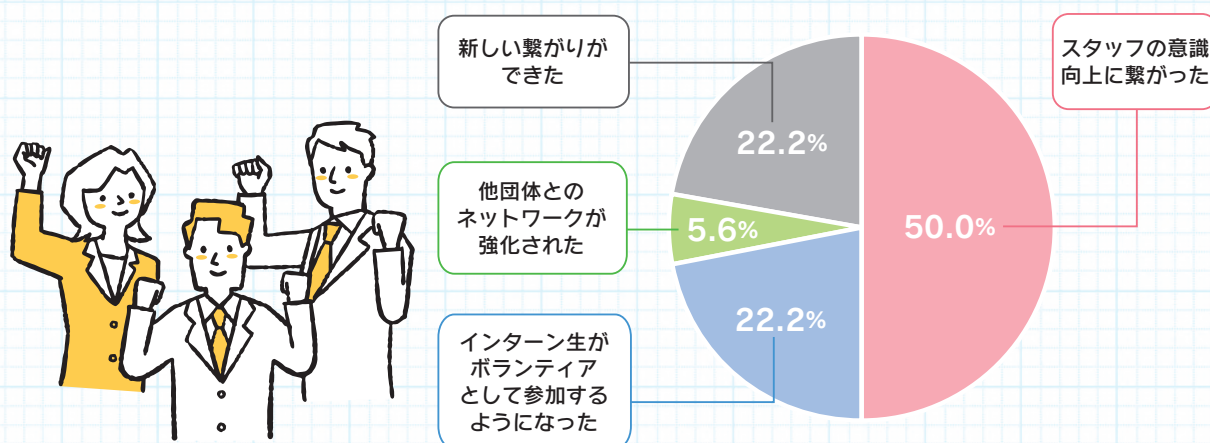
- 団体の認知向上と人材育成。
- 学生のみなさんのこれからを応援したい。
- 若い方々にいろいろな体験学習ができる環境を提供したい。
- インターンを受け入れることで、自団体の活動を改めて客観的に見直す機会になると思って。
- 若い方の感性を業務に活かしたいと考えたため。
- 地元学生との繋がりを強化し、地域の活性化に扶助するため。
- 将来を担う若い方へ場を提供することで、社会貢献と自分たちの組織との将来の連携を期待。
- 学生さんの将来の一步の力となればとの思い。
- 活動を広めたい。
- 若い方と交流ができる。
- 団体の目的のひとつにリーダー育成があるから。
- インターン生を通して毎回新たな気づきや発見があるから。
- 何回か案内があったので、スタッフが少ないので対応が難しいと思っていたが、今回応募し、体験してみたかった。



Q3. インターン生の受け入れをしてみて、何か変化がありましたか？



Q4. Q3. で「大きく変わった」または「変わった」を選択した主な理由は何ですか？



その他の感想

- 毎年チャレンジインターンシップの実施ありがとうございます。NPO が取り組む社会課題に学生の皆さんが触れていただける機会が創出できて嬉しい限りです。また学生の皆さんの将来に向け少しでも寄与することができていれば嬉しいです。来年もどうぞ、宜しくお願いいたします！
- 回数を増やしてもよいです。
- 是非継続して事業を行ってほしいです。
- 私達もとても良い学びになりました。ありがとうございました。





START!

活動のアルバム

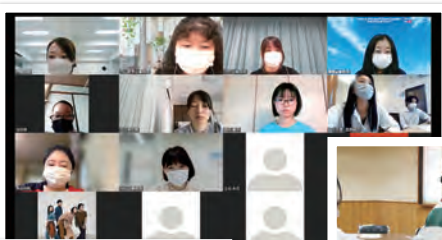
開講式

会場及び Zoom で
行われました!



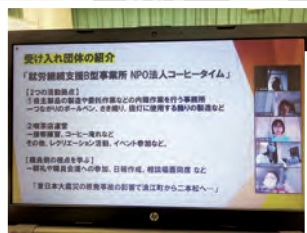
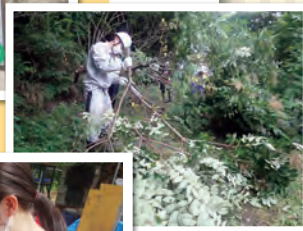
学生同士の情報交換会

オンラインとリアル併せて 2 回
開催しました!



活動

がんばるぞ!



②活動中学んだこと・得たもの・気づき

- 子どもたちが自分の手で作ることも食卓
食事が作られる過程、作ってくれる人への感謝、自分で作って食べる楽しさを経験
- 畑の収穫・手入れ・種まき
普段食べている食材への感謝
- 生ゴミを利用した土づくり
SDGsの観点から見た農産物の発展の可能性



活動成果報告会・閉講式

活動の成果を報告しました!
閉講式では証書の授与も。



GOAL!



Study meeting

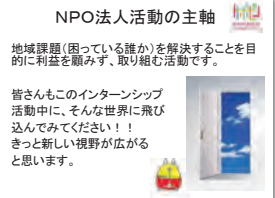
開講式7/9



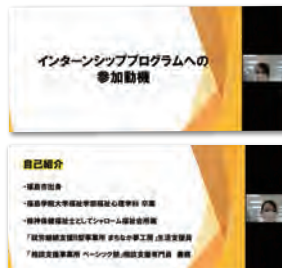
【本日の内容】
■SDGとは何か？
■SDGが採択された背景
■取り組むのは誰か？

開講式

学校で習わない様々なお話を聞きました。東北、日本、そして世界が抱えている問題に関してわかりやすく説明していただき、これから臨むインターンシップ活動はもちろんの事、自分の目指す一つの目標となるものが見つかった気がします。



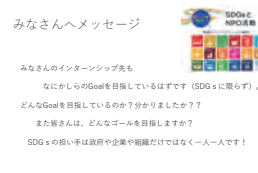
第1回情報交換会8/17



第2回情報交換会9/10



活動成果報告会・開講式10/29



第1回情報交換会

Q: インターン活動をしていた時のメンターさんと現在の関係性について教えてください

A: インターン活動をしていた時のメンターさんやスタッフさんとは、今でもつながっている方たちが多いです。インターン生当時の私の考え方を知っている方は、昔はこういう考えに囚われていたけど今はこうだね、すごく成長してるよねなど色々お話ししてくれます。何でも話せる、相談できる人が増えました。インターンシップ活動を通して現在まで続く繋がりやご縁をいただけたことは、貴重な体験と出会いだったと改めて感じています。



第2回情報交換会

- 現在の状況など学び多い時間となりました。
- これまではSDGsの内容をただ知っていただけでしたが、講演を聞いて、ただ広く知ってもらうだけにとどまらず、その次のステップとして実行までにことを進めていかなければならないという現状を知ることができました。
- SDGsとNPOの関係性など、より深く学ぶことができたと思います。
- ホームスクールの話など、知らないことを知ることができました。思っていた以上に学校に通うことができない子どもがいることを知りました。

活動成果報告会・開講式

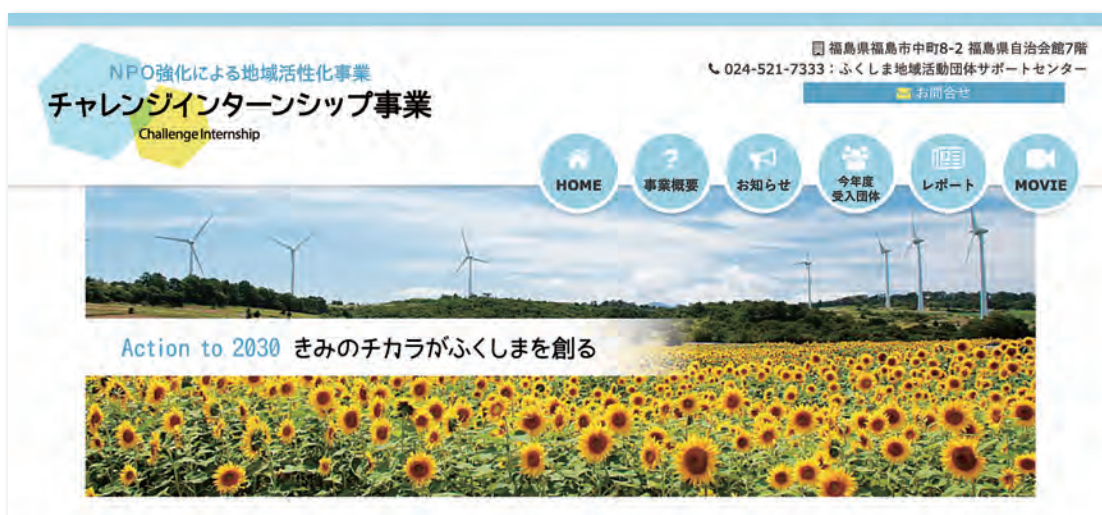
SDGsは難しい問題としてしか捉えていなくて、自分ではできないと思っていました。今回のお話を聞いて、一人一人が意識することや自分が一つの過程になることによって、「自分だけが」ではなく「自分たちが」世界を変えていけると感じました。





これまでのチャレンジインターンシップ事業の活動の様子は
こちらからご覧いただけます

<https://f-intern.f-saposen.jp>



令和4年度
「チャレンジインターンシップ事業」
NPO強化による地域活性化事業 事業報告書

令和5年3月8日発行

発 行	福島県企画調整部文化スポーツ局文化振興課 〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16 (県庁本庁舎5階) 電話 024-521-7179 FAX 024-521-5677
運営受託 事 務 局	認定特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター ふくしま地域活動団体サポートセンター 〒960-8043 福島県福島市中町8-2 福島県自治会館7階 電話 024-521-7333 FAX 024-523-2741

